

5/27
五夜

国保運営に住民意見を

県単位化で県に要請

福井社保協

委員、佐々木紀明県民
医連事務局長や、日本
共産党的、かねもと幸
枝衆院1区候補と佐藤
正雄県議や各市町議が
参加しました。

福井県社会保障推進
協議会は24日、来年度
から始まる国民健康保
険の県単位化について
県に要請し、納付金や
標準保険料率の試算内
容を公表するよう求め
ました。山野寿一代表

「国保運営方針に地域
算を行いたい」とし、

（住民の意見を十分反映
させる）なども求めま
した。

応対した船木麻央長
寿福社課長は「暫定の
試算はしているが、國
からの公費の計算方法
が未定のため、8月さ
るにはきちんととした試
との意見が相次ぎまし
た。

各市町の暫定試算公表
は「市町の判断」と答
えました。法定外繰り
入れは、「法的に禁止
されてはいない。國の
指針では一定期間のう
ちに解消するとしてお
り、市町と協議中」だ
と回答。参加者からは
「保険税がこれ以上上
昇すれば、さらに払え
ない県民が増え、社会
保障に逆行する。國い
いなりではなく、県民
の方を向いた行政を」
との意見が相次ぎまし
た。